

平成 21 年 3 月 23 日

各 位

東京都杉並区西荻北二丁目 1 番 11 号
株式会社三栄建築設計
代表取締役社長 小池 信三
(コード番号:3228 名証セントレックス)
問合せ先: 取締役管理部長 吉川 和男
電話番号: 03-3395-3591

平成 21 年 8 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえて、平成 20 年 10 月 10 日付の「平成 20 年 8 月期決算短信（非連結）」記載の平成 21 年 8 月期第 2 四半期累計期間業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 21 年 8 月期第 2 四半期累計期間業績予想の修正（平成 20 年 9 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	13,626	717	511	276	11,689.90
今 回 修 正 予 想 (B)	12,482	354	223	77	3,286.93
増 減 額 (B - A)	1,143	362	288	198	-
増 減 率 (%)	8.4%	50.6%	56.3%	71.9%	-
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 20 年 8 月期第 2 四半期)	11,626	1,066	854	449	18,991.01

2. 修正の理由

当期におけるわが国経済は、サブプライム問題に端を発した国際的な規模の金融不安などの諸難題が深刻化し、国内においても GDP（国内総生産）が今年に入り 2 四半期連続マイナスとなり、内外ともに一層景況感が悪化して大変厳しい経済環境となっております。

当社の属する不動産業界においては、世界的な金融市場の混乱により金融機関において不動産関連融資が急速に縮小したことで資金繰り悪化の影響を受け、多くの企業は棚卸資産の圧縮により資金化を急ぐ傾向が顕著となっております。また、販売価格において競争が激化し、販売価格の低下を招き収益が悪化するという厳しい状況でありました。

当第 2 四半期累計期間におきましては、当社は、計画に従い 2007 年 10 月以降から始まった地価低下傾向の影響を考慮した在庫の早期売却を積極的に進めた結果、売上高におきましてはほぼ計画通り推移いたしました。しかしながら、利益におきましては、同業他社との競争激化を背景とした販売価格の低下に伴う収益率の悪化による影響及び所有賃貸物件の減損損失の計上の可能性があることを考慮し、これらの影響についての概算額を、前回発表予想に反映させ、上記記載のとおり修正を行うことといたしました。

なお、今期通期の業績予想については前回発表予想の変更はございません。

(注記事項)

本資料に記載しております予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上